

# 株主のみなさまへ

第69期 ご報告

(平成18年4月1日から  
平成19年3月31日まで)

岡三ホールディングス株式会社

## Ⅰ 会社概要 (平成19年3月31日現在)

商号	岡三ホールディングス株式会社 (OKASAN HOLDINGS, INC.)
所在地	東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創業	大正12年4月4日
設立	昭和19年8月25日
資本金	18,589,682,639円
グループ会社	16社
従業員数	2,966名(第69期連結ベース)
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所



(本社ビル)

## Ⅰ 目次

株主のみなさまへ	1
中期経営計画	2
岡三トピックス	3
コーポレートガバナンス——リスク管理体制の強化	6
財務ハイライト	7
連結財務諸表	8
財務諸表	10
経営体制	11
株式の状況・株主メモ	12
サービス網のご案内	13

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

ここに、第69期の事業概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

かつて預貯金に偏重していたわが国の個人金融資産は、投資信託などを通じて証券市場へと流入しております。また、企業収益の拡大や株主還元意欲の高い企業の増加が、証券市場への資金流入をさらに促すという好循環が続くなど、わが国の資金の流れは大きく変貌しつつあります。

このような環境のもと、当社グループでは昨年4月に「スーパー・リージョナル証券を目指して」をテーマとする2ヵ年の中期経営計画を策定し、地域に根ざした特色ある証券営業の確立を目指して、この1年間邁進してまいりました。グループ中核企業の岡三証券では、店舗・人材・システムの強化を図り、お客さまの利便性を高めた店舗作りを進める一方、SMAサービスなど富裕層ビジネスに取り組むための準備を整えております。また、岡三オンライン証券では中国株取引、FX取引とサービスを拡大し、新たな顧客層の開拓に取り組んでおります。海外におきましては、上海駐在員事務所の開設やベトナム投資開発銀行証券との提携など、成長著しいアジア地域での拠点整備を進めております。

中期経営計画の2ヵ年目となる今年度は、資産運用サービスはもとより、お客さまの投資スタイルに合った金融商品を提供するため、「製造部門」の強化を推進してまいります。また、投資信託を中心とした商品開発力、情報提供力の強化、営業人員の拡充を図るため、人材の積極的な採用・育成にも努めてまいります。

今後とも、一層の収益の拡大と企業ブランドの向上を図るとともに、お客さまの資産形成への貢献を通じて、岡三グループ全体の価値向上に努めてまいります所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成19年6月



取締役会長

加藤 精一



取締役社長

加藤 哲夫

## Ⅰ 中期経営計画

# スーパー・リージョナル証券を目指して

地域に根ざした特色ある証券営業の確立を追求し、お客さま・株主・社員の各ステークホルダーにとって満足度の高い証券会社グループを目指します。

### ■ 平成19年度では「製造部門の強化」と「人材の育成」を重点課題として取り組んでまいります

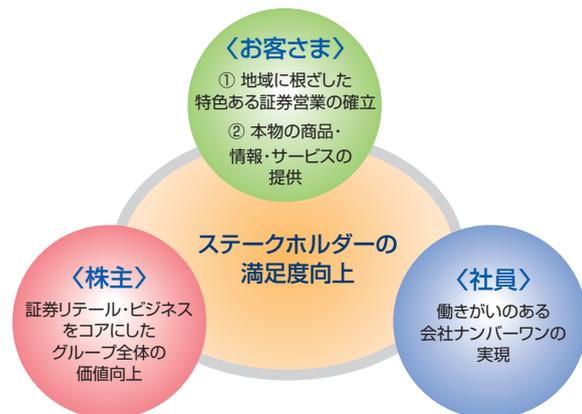
少子高齢化社会の進展や公的年金制度の不安を背景に、老後の生活資金を自助努力により確保する「自立型」のライフスタイルが定着しつつあり、資産運用サービスに対するニーズは、ますます高まっております。こうしたなか、当社グループでは、今後の事業展開の指針となる中期経営計画を昨年4月に策定し、現在その実現に向けて取り組んでおります。

本計画の最終年度にあたる平成19年度は、グループにおける資産運用業務、情報部門などの「製造部門」

の強化と採用面を含めた「人材の育成」に重点をおき、投資信託を中心とした商品開発力、情報提供力の強化、営業人員の拡充などを図っております。

また、株主価値重視と社会的責任(CSR)重視の経営も重要な課題として捉え、会社法や金融商品取引法に基づく「内部統制システム」の構築、コンプライアンス体制の強化などコーポレート・ガバナンスの充実にも努めてまいります。

### 岡三グループ 基本理念



### 対処すべき課題(骨子)

#### 1. 製造部門の強化

- 日本投信委託を中心としたアセットマネジメント部門の強化
- 岡三証券の「商品部門」「投資情報部門」の強化

#### 2. 人材の育成

- 働きがいのある会社ナンバーワンの実現
- 人事制度改革
- 営業支援制度改革

#### 3. コーポレートガバナンスの強化・充実

- 内部統制システムの構築、整備

## Ⅰ 岡三トピックス

### ■ 岡三オンライン証券が開業しました

#### 資産運用の醍醐味をより多くの方へ

岡三グループのインターネット専門証券、岡三オンライン証券が昨年12月に開業いたしました。現在、中国株取引と為替証拠金取引（FX）を取り扱っております。今後、日本株取引をスタートする予定であり、その後も投資信託の販売など取扱商品やサービスを随時拡充してまいります。

岡三オンライン証券では、岡三グループの情報リソースを最大限に活用した投資情報や先進的なシステムによる安全な取引環境を提供してまいります。「証券のプロ」がITを駆使してご提供する岡三オンライン証券をどうぞよろしく申し上げます。



岡三オンライン証券コールセンター

### ■ 岡三証券 営業店舗リニューアル加速

#### 安心してゆっくりとご相談いただけます

岡三証券では、営業店舗のリニューアルに積極的に取り組んでおります。平成18年度では八王子、日本橋本店、柏、池袋、名張、渋谷、四日市の7支店を移転し、利便性の向上を図ったほか、複数店舗で改装・レイアウト変更等を実施いたしました。

リニューアルに際しましては、個室型の「投資相談ブース」を大幅に増設し、お客さまが安心してゆっくりとご相談いただけるように心がけております。

岡三証券では今後とも、地域ナンバーワンの証券会社を目指した店作りを推進してまいります。



柏支店



渋谷支店

## ■ ベトナム投資開発銀行証券と業務提携

### 中国・インドに続く新たなアジア市場開拓を推進

岡三証券は昨年11月、ベトナムの大手証券会社、「ベトナム投資開発銀行証券」と業務提携いたしました。

ベトナムはアジア域内で中国に次ぐ高い経済成長率を誇り、昨年末のWTO正式加盟により今後の発展が期待されています。当社グループでは、成長期にあるベトナム市場をアジア戦略の重要地域のひとつとして位置付けています。

岡三証券では今回の業務提携を通じて今後はベトナム国内企業の民営化業務、日本の機関投資家向けビジネス支援などのほか、日本国内の投資家に対してもベトナム株ファンドの販売など多様なビジネス展開を図ってまいります。



調印式風景（於 ベトナム・ハノイ）

## ■ 岡三証券「上海駐在員事務所」を開設

### 上海・香港・東京の3拠点から情報発信いたします

岡三証券では、昨年12月、中華人民共和国の上海市に駐在員事務所を開設いたしました。

同駐在員事務所は岡三証券としては中国大陸における最初の拠点となります。中国市場のビジネスは中長期的な観点から幅広い可能性と成長性が見込まれ、重要な戦略分野のひとつとなっております。

今後は、同駐在員事務所を中心に、香港の現地法人、国内の岡三証券アジア情報館の三拠点からアジア市場をカバーし、投資家のみなさまへより速報性に優れた質の高いマーケット情報を提供してまいります。



岡三証券上海駐在員事務所

## ■ 日本投信、地域に密着した投信を拡充

### 信託報酬の一部を社会福祉・医療のために寄附しています

日本投信委託株式会社では、昨年12月に「山口県応援ファンド」を設定しました。これにより同社が設定・運用する地域応援ファンドは、三重県、福井県、香川県の応援ファンドとあわせ、計4本となりました。

地域応援ファンドでは、信託報酬の一部を地域の社会福祉や医療などのために寄附しています。昨年9月の三重県応援ファンドに続き、12月には福井県応援ファンドが設定一周年を迎え、これを記念して一周年大会を開催しました。

大会当日には、日本赤十字社福井県支部への寄附贈呈式やファンドの運用報告、記念講演会などを行い、数多くのファンド受益者の方々にお集まりいただきました。



福井県応援ファンド一周年記念大会

## ■ 当社ホームページをリニューアル

### 岡三グループの最新のIR情報を発信しています

昨年12月に当社ホームページを全面リニューアルいたしました。動画や画像を多く取り入れたデザインに刷新し、必要な情報を探しやすいようにユーザビリティを心がけ、ご訪問いただくみなさまにとってより使いやすいホームページとなるようにいたしました。また、CSR活動状況など新規コンテンツも充実、新着情報を迅速にお届けするためIRニュースのメール配信サービスも開始いたしました。

今後もさらなる改善と充実を図り、みなさまからご愛用いただけるホームページを目指してまいります。

ぜひ一度、当社ホームページへご訪問ください。

(URL : <http://www.okasan-holdings.co.jp/>)



当社ホームページ

## Ⅰ コーポレートガバナンス ― リスク管理体制の強化

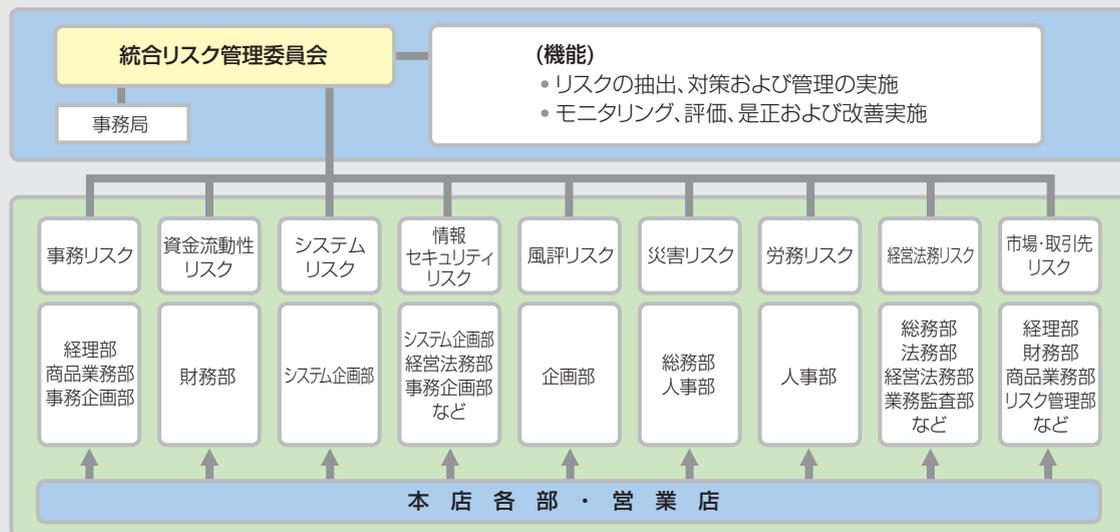
経営に関するさまざまなリスク(損失の危険)を網羅的に把握し、リスク状況の変化に機動的に対応するため、「統合リスク管理委員会」を設置し、適切なリスク管理体制の整備に努めています。

### ■ 「統合リスク管理委員会」を設置

証券市場を取り巻く環境が大きく変化するなか、当社グループが直面するリスク(損失の危険)は、これまで以上に多様化してきております。当社およびグループ中核企業の岡三証券では直面するリスクを網羅的に把握し適切なリスク管理を行うため、平成18年10月に「統合リスク管理規程」を制定しました。また、新たに「統合リスク管理委員会」を社内に設置し、各部署が行うリスク管理の状況をモニタリングしております。

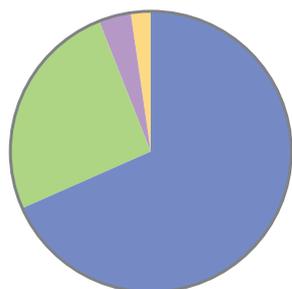
現在、岡三証券では、業務上管理すべきリスクを事務リスク、資金流動性リスク、システムリスクなど9つに分類し、それぞれのリスク管理主管部署が適切に管理しております。統合リスク管理委員会は主管部署からのリスクを抽出するとともに、必要に応じて組織横断的な対策を講じることで統合的なリスク管理を行い、より一層の経営の健全性維持に努めてまいります。

#### 岡三証券の統合リスク管理体制



# 財務ハイライト

当年度における当社グループの営業収益は700億50百万円(前年度比78.8%)、経常利益は142億34百万円(同40.2%)、当期純利益は47億30百万円(同26.4%)となりました。



営業収益

■ 受入手数料	47,892百万円
■ トレーディング損益	17,960百万円
■ 金融収益	2,593百万円
■ その他の営業収益	1,603百万円

受入手数料の商品別内訳(百万円)



トレーディング損益内訳(百万円)

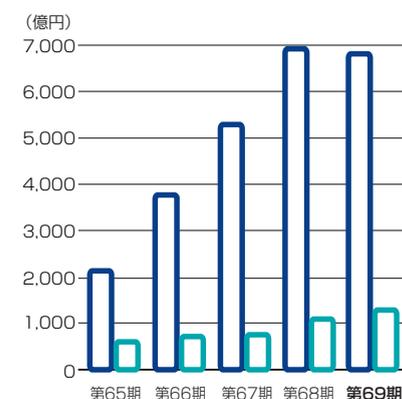


## ポイント

株式市況低迷等の影響から株式委託手数料、株券等トレーディング損益が減少しました。

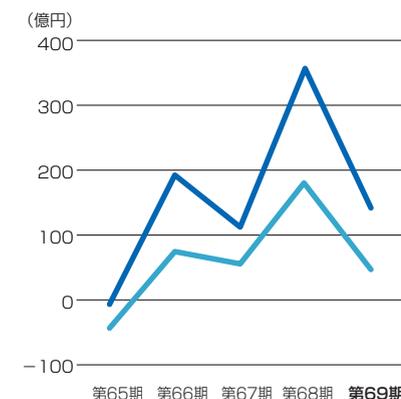
一方、「貯蓄から投資へ」の流れを受け、投資信託関連の受入手数料が大幅に増加したほか外国債券の販売拡大により債券等トレーディング損益も増加しました。

## 総資産・純資産



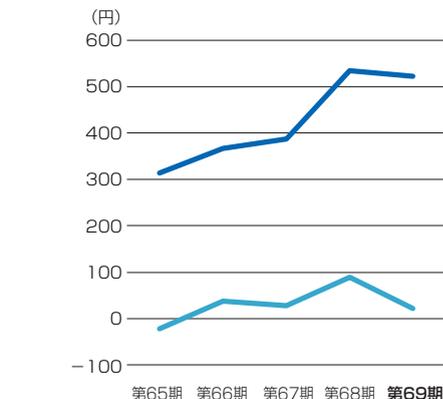
■ 総資産	2,145	3,783	5,296	6,930	6,830
■ 純資産	618	725	762	1,106	1,301

## 経常利益・当期純利益



■ 経常利益	△ 9	192	112	353	142
■ 当期純利益	△46	76	55	178	47

## 1株当たり当期純利益・純資産



■ 1株当たり当期純利益	△23	37	27	89	22
■ 1株当たり純資産	314	367	387	534	522

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当年度 (平成19年3月31日)	前年度 (平成18年3月31日)
<資産の部>		
<b>流動資産</b>	<b>615,958</b>	<b>624,928</b>
現金・預金	32,096	42,268
預託金	30,282	39,028
トレーディング商品	212,365	181,891
約定見返勘定	958	—
信用取引資産	108,654	150,257
有価証券担保貸付金	215,812	193,963
その他の流動資産	15,789	17,518
<b>固定資産</b>	<b>67,130</b>	<b>68,145</b>
有形固定資産	14,326	14,156
無形固定資産	4,738	2,320
投資その他の資産	48,065	51,668
<b>資産合計</b>	<b>683,088</b>	<b>693,073</b>
<負債の部>		
<b>流動負債</b>	<b>522,033</b>	<b>526,725</b>
トレーディング商品	191,444	166,028
約定見返勘定	—	975
信用取引負債	37,183	66,111
有価証券担保借入金	132,481	101,298
預り金	20,317	26,063
受入保証金	15,006	26,527
短期借入金	118,151	119,304
その他の流動負債	7,448	20,416
<b>固定負債</b>	<b>29,767</b>	<b>32,563</b>
長期借入金	11,919	13,969
退職給付引当金	5,682	6,330
その他の固定負債	12,165	12,263
<b>特別法上の準備金</b>	<b>1,181</b>	<b>990</b>
<b>負債合計</b>	<b>552,982</b>	<b>560,279</b>
<少数株主持分>		
<b>少数株主持分</b>	<b>—</b>	<b>22,134</b>
<資本の部>		
<b>資本金</b>	<b>—</b>	<b>18,589</b>
資本剰余金	—	12,766
利益剰余金	—	67,287
土地再評価差額金	—	230
その他有価証券評価差額金	—	12,377
為替換算調整勘定	—	167
自己株式	△ 872	△ 759
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>110,659</b>
<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>—</b>	<b>693,073</b>
<純資産の部>		
<b>株主資本</b>	<b>97,125</b>	<b>—</b>
資本金	18,589	—
資本剰余金	12,808	—
利益剰余金	66,599	—
自己株式	△ 872	—
<b>評価・換算差額等</b>	<b>10,634</b>	<b>—</b>
その他有価証券評価差額金	10,317	—
土地再評価差額金	153	—
為替換算調整勘定	164	—
<b>少数株主持分</b>	<b>22,345</b>	<b>—</b>
<b>純資産合計</b>	<b>130,106</b>	<b>—</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>683,088</b>	<b>—</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	前年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
<b>営業収益</b>	<b>70,050</b>	<b>88,899</b>
受入手数料	47,892	52,686
トレーディング損益	17,960	26,087
金融収益	2,593	2,147
その他の営業収益	1,603	7,978
<b>金融費用</b>	<b>2,159</b>	<b>1,677</b>
<b>純営業収益</b>	<b>67,891</b>	<b>87,222</b>
<b>販売費・一般管理費</b>	<b>54,453</b>	<b>52,474</b>
<b>営業利益</b>	<b>13,438</b>	<b>34,747</b>
<b>営業外収益</b>	<b>1,222</b>	<b>1,071</b>
<b>営業外費用</b>	<b>426</b>	<b>438</b>
<b>経常利益</b>	<b>14,234</b>	<b>35,380</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,461</b>	<b>101</b>
<b>特別損失</b>	<b>1,320</b>	<b>1,605</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>14,375</b>	<b>33,876</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>5,353</b>	<b>14,644</b>
<b>過年度法人税等</b>	<b>1,596</b>	<b>—</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>1,172</b>	<b>△ 869</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>1,523</b>	<b>2,202</b>
<b>当期純利益</b>	<b>4,730</b>	<b>17,898</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	前年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 177	△ 25,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,682	△ 3,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,297	31,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	242
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 11,162	3,327
現金及び現金同等物の期首残高	36,083	32,755
現金及び現金同等物の期末残高	24,920	36,083

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (第69期 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	18,589	12,766	67,287	△ 759	97,884	12,377	230	167	12,775	22,134	132,793
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当(注)			△ 5,061		△ 5,061						△ 5,061
役員賞与(注)			△ 356		△ 356						△ 356
当期純利益			4,730		4,730						4,730
自己株式の取得				△ 139	△ 139						△ 139
自己株式の処分		42		33	75						75
連結子会社に対する持分比率 増加による自己株式の変動				△ 6	△ 6						△ 6
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 2,059	△ 77	△ 3	△ 2,140	211	△ 1,928
連結会計年度中の変動額合計	-	42	△ 687	△ 112	△ 758	△ 2,059	△ 77	△ 3	△ 2,140	211	△ 2,687
平成19年3月31日残高	18,589	12,808	66,599	△ 872	97,125	10,317	153	164	10,634	22,345	130,106

(注) 平成18年6月定時株主総会における利益処分項目であります。

### 業績および財政状態(連結ベース)

当年度における当社グループの営業収益は700億50百万円(前年度比78.8%)、経常利益は142億34百万円(同40.2%)、当期純利益47億30百万円(同26.4%)となりました。

### 受入手数料

「貯蓄から投資へ」の流れを受け投資信託関連の手数料は大幅に増加しましたが、株式市況の低迷により株式委託手数料が落ち込んだ結果、受入手数料は478億92百万円(前年度比90.9%)となりました。

### トレーディング損益

個人向け外国債券の販売は好調でしたが、国内株式にかかる自己売買益が伸び悩んだ結果、トレーディング損益は179億60百万円(前年度比68.8%)となりました。

### 金融収支

金融収益は25億93百万円(前年度比120.8%)、金融費用は21億59百万円(同128.7%)となり、差引金融収支は4億33百万円(同92.4%)となりました。

### その他の営業収益

証券業および同付随業務に係るもの以外の営業収益は、16億3百万円(前年度比20.1%)となりました。

\*日本投信委託株式会社の受け入れる信託報酬は、当年度より「受入手数料」に含めて表示しています。

### 販売費・一般管理費

人件費は減少しましたが広告宣伝費などの取引関係費や店舗リニューアルに伴う不動産関係費が増加したことなどにより、販売費・一般管理費は544億53百万円(前年度比103.8%)となりました。

### 営業外損益および特別損益

営業外収益は12億22百万円、営業外費用は4億26百万円となりました。また、特別利益は14億61百万円、特別損失は13億20百万円となりました。

# 財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当年度 (平成19年3月31日)	前年度 (平成18年3月31日)
<資産の部>		
流動資産	22,789	37,517
固定資産	75,322	74,346
有形固定資産	2,492	2,389
無形固定資産	455	697
投資その他の資産	72,374	71,259
資産合計	98,112	111,863
<負債の部>		
流動負債	7,375	13,150
固定負債	9,038	11,210
負債合計	16,414	24,360
<資本の部>		
資本金	—	18,589
資本剰余金	—	12,766
利益剰余金	—	44,555
その他有価証券評価差額金	—	11,943
自己株式	—	△ 353
資本合計	—	87,502
負債・資本合計	—	111,863
<純資産の部>		
株主資本	71,676	—
資本金	18,589	—
資本剰余金	12,766	—
利益剰余金	40,811	—
自己株式	△ 492	—
評価・換算差額等	10,022	—
その他有価証券評価差額金	10,022	—
純資産合計	81,698	—
負債・純資産合計	98,112	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	前年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
営業収益	6,364	6,093
商標使用料収入	2,986	3,802
不動産賃貸料収入	883	874
資産利用料収入	251	259
その他の売上高	133	133
金融収益	2,109	1,024
営業費用	2,352	1,997
販売費及び一般管理費	2,188	1,852
金融費用	164	144
営業利益	4,011	4,096
営業外収益	596	397
営業外費用	78	123
経常利益	4,529	4,370
特別利益	239	18
特別損失	806	682
税引前当期純利益	3,961	3,706
法人税、住民税及び事業税	973	1,137
過年度法人税等	1,596	—
法人税等調整額	△ 243	△ 77
当期純利益	1,635	2,646
前期繰越利益	—	1,784
当期未処分利益	—	4,431

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(第69期 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金								
			資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
平成18年3月31日残高	18,589	12,766	3,224	36,900	4,431	44,555	△ 353	75,559	11,943	87,502	
事業年度中の変動額											
別途積立金の取崩(注)				△ 3,900	3,900	—			—	—	
剰余金の配当(注)					△ 5,188	△ 5,188		△ 5,188		△ 5,188	
取締役賞与(注)					△ 190	△ 190		△ 190		△ 190	
当期純利益					1,635	1,635		1,635		1,635	
自己株式の取得							△ 139	△ 139		△ 139	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									△ 1,921	△ 1,921	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△ 3,900	156	△ 3,743	△ 139	△ 3,882	△ 1,921	△ 5,804	
平成19年3月31日残高	18,589	12,766	3,224	33,000	4,587	40,811	△ 492	71,676	10,022	81,698	

(注) 平成18年6月定時株主総会における利益処分項目であります。

# 経営体制 (平成19年6月28日現在)

## 岡三グループ

### 持株会社

岡三ホールディングス株式会社

### グループ企業群

#### 証券ビジネス

岡三証券株式会社 [証券業]	本店：東京都中央区
岡三オンライン証券株式会社 [証券業]	本店：東京都中央区
丸福証券株式会社 [証券業]	本店：新潟県長岡市
三京証券株式会社 [証券業]	本店：大阪府大阪市
三晃証券株式会社 [証券業]	本店：東京都渋谷区
六二証券株式会社 [証券業]	本店：三重県桑名市
大石証券株式会社 [証券業]	本店：岐阜県大垣市
岡三国際(亞洲)有限公司 [証券業]	本社：香港

#### アセットマネジメントビジネス

日本投信委託株式会社 [投資信託委託業]
岡三投資顧問株式会社 [投資顧問業]

#### グループサポート/その他関連ビジネス

岡三ベンチャーキャピタル株式会社 [ベンチャーキャピタル]
株式会社岡三経済研究所 [情報サービス業]
岡三(上海)投資顧問有限公司 [情報サービス業]
岡三情報システム株式会社 [情報処理サービス業]
岡三ビジネスサービス株式会社 [事務代行業・人材派遣業]
岡三興業株式会社 [不動産業・保険代理店業]

## 役員

### 岡三ホールディングス株式会社

取締役会長	加藤 精 一
取締役社長	加藤 哲 夫 (執行役員)
専務取締役	新 芝 宏 之 (執行役員)
専務取締役	野 中 計 彦 (執行役員)
常務取締役	新 堂 弘 幸 (執行役員)
取 締 役	田 中 健 一 (執行役員)
取 締 役	金 井 政 則 (執行役員)
取 締 役	武 宮 健 二 郎 (執行役員)
常勤監査役	朔 浩 一
常勤監査役	南 浩 典
監 査 役	丹 泰 徳
監 査 役	平良木 登規男
監 査 役	浅 野 幸 弘
監 査 役	佐 賀 卓 雄

(注) 監査役 平良木登規男、監査役 浅野幸弘および監査役 佐賀卓雄の3名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### 岡三証券株式会社

取締役名誉会長	加藤 精 一
取締役会長	加藤 哲 夫
取締役社長	田 中 健 一
専務取締役	岩 木 徹 美* 金 井 政 則
	野 中 計 彦 武 宮 健 二 郎
常務取締役	浜 田 裕 治 山 田 賢 治
	田 中 充 武 田 正 俊
	古 田 省 三* 高 松 重 之
取 締 役	新 芝 宏 之 新 堂 弘 幸
	塩 屋 公 男 寺 山 彰
	小 林 雅 典 村 井 博 幸*
	松 田 聡 渡 辺 正 一
	古 賀 伸 一 国 広 昭 彦
	青 木 義 一
常勤監査役	丹 泰 徳
監 査 役	田 岡 洋 一 朔 浩 一

(注1) \*印は、岡三ホールディングス株式会社の執行役員を兼務しております。

(注2) 常勤監査役 丹 泰徳および監査役 田岡洋一は、社外監査役であります。

# 株式の状況・株主メモ (平成19年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	208,214,969株
株主数	30,941名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口	11,739	5.83
日本生命保険相互会社	9,800	4.87
住友信託銀行株式会社	9,726	4.83
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,750	2.85
モルガン・スタンレー アンド カンパニー インク	5,700	2.83
大同生命保険株式会社	5,500	2.73
有限会社 藤 精	5,266	2.61
株式会社みずほコーポレート銀行	4,925	2.45
株式会社りそな銀行	4,865	2.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,848	2.41

## 株主メモ

**決算日** 3月31日(年1回)  
**定時株主総会** 6月中に開催いたします。  
**単元株式数** 1,000株  
**公告方法** 電子公告(当社ホームページに掲載いたします。)  
<http://www.okasan-holdings.co.jp/>  
 ※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

**株主名簿管理人** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 住友信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵送物の送付先**  
 〒183-8701  
 東京都府中市日鋼町1番10  
 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (住所変更等用紙のご請求)  
**0120-175-417**  
 (その他ご照会)  
**0120-176-417**

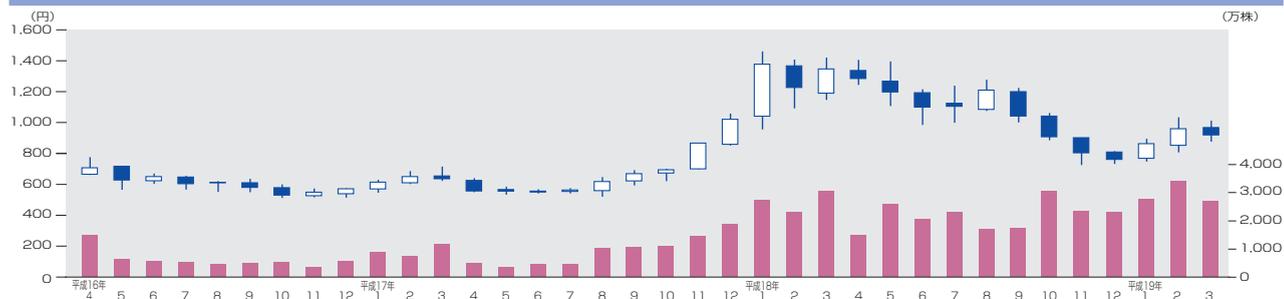
**同 取 次 所** 住友信託銀行株式会社 全国本支店

## 所有者別持株比率

平成19年3月31日現在



## 株価および出来高の推移(東証・月間)



# サービス網のご案内 (平成19年6月28日現在)

## ■ 岡三ホールディングス ■

本店 東京都中央区日本橋1の17の6 03-3272-2222

## ■ 岡三証券 ■

本店 東京都中央区日本橋1の17の6 03-3272-2211  
 本店東館 東京都中央区日本橋1の20の5 03-3272-2211  
**岡三証券トレーディングセンター**  
 東京都江東区平野3の2の12 03-3272-2211  
**アジア情報館**  
 東京都港区虎ノ門1の4の7 03-5511-7711  
**札幌支店** 北海道札幌市中央区北二条西3の1の8 011-251-3455  
**仙台支店** 宮城県仙台市青葉区中央3の1の24 022-265-1718  
**勝田支店** 茨城県ひたちなか市勝田中央12の15 029-275-3111  
**大宮支店** 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1の7の5 048-644-5841  
**柏支店** 千葉県柏市柏2の6の8 04-7163-4311  
**千葉支店** 千葉県千葉市中央区富士見1の15の9 043-222-8131  
**浅草支店** 東京都台東区雷門2の4の8 03-3844-1717  
**池袋支店** 東京都豊島区西池袋1の18の2 03-3983-5151  
**新宿支店** 東京都新宿区西新宿1の6の1 03-3342-2511  
**渋谷支店** 東京都渋谷区渋谷1の7の7 03-3409-3241  
**大手町支店** 東京都千代田区内神田2の2の6 03-3258-7801  
**虎の門支店** 東京都港区虎ノ門1の3の2 03-3502-1801  
**大森支店** 東京都品川区南大井6の28の11 03-3763-3171  
**八王子支店** 東京都八王子市明神町4の7の15 042-645-2211  
**横浜支店** 神奈川県横浜市中区尾上町2の27 045-651-1251  
**沼津支店** 静岡県沼津市大手町2の4の1 055-962-1313  
**静岡支店** 静岡県静岡市葵区常盤町1の4 054-251-1331  
**浜松支店** 静岡県浜松市中区鍛冶町140の2 053-456-2161  
**恵那支店** 岐阜県恵那市大井町201の10 0573-25-2111  
**名古屋支店** 愛知県名古屋市中村区名駅4の2の28 052-582-3431  
**金山支店** 愛知県名古屋市中区金山1の13の6 052-321-1551  
**刈谷支店** 愛知県刈谷市東陽町3の43 0566-21-3232  
**金沢支店** 石川県金沢市香林坊1の2の20 076-262-8811  
**四日市支店** 三重県四日市市諏訪町4の5 059-353-1131  
**鈴鹿支店** 三重県鈴鹿市西条4の87の2 059-382-1345  
**津支店** 三重県津市中央6の5 059-226-1511  
**津支店久居営業所** 三重県津市久居新町3002の3 059-256-8777  
**伊賀上野支店** 三重県伊賀市上野東町2922 0595-21-5131  
**名張支店** 三重県名張市平尾2561 0595-63-1511  
**名張支店桔梗が丘営業所** 三重県名張市桔梗が丘5番町2の1 0595-66-4688  
**松阪支店** 三重県松阪市中町6の8の1 0598-21-2552  
**伊勢支店** 三重県伊勢市本町11の1 0596-28-1171  
**志摩支店** 三重県志摩市阿児町郷方4042 0599-43-5511  
**尾鷲支店** 三重県尾鷲市中村町3の36 0597-22-1515  
**京都支店** 京都府京都市下京区四条通高倉西入立先西町63の1 075-231-7111  
**宮津支店** 京都府宮津市鶴賀2066の69 0772-22-2166  
**大阪支店** 大阪府大阪市中央区今橋1の8の7 06-6202-1191

**梅田支店** 大阪府大阪市北区梅田1の1の3-100 06-6345-2951  
**阿倍野支店** 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3の10の1-100 06-6631-9331  
**千里支店** 大阪府吹田市津雲台1の2のD9 06-6834-3535  
**東大阪支店** 大阪府東大阪市足代2の3の6 06-6728-1133  
**堺支店** 大阪府堺市堺区熊野町東一丁1の2 072-233-5141  
**藤井寺支店** 大阪府藤井寺市岡2の12の6 072-953-5941  
**奈良支店** 奈良県奈良市本守町1の1 0742-22-4001  
**和歌山支店** 和歌山県和歌山市八番丁11 073-431-1431  
**神戸支店** 兵庫県神戸市中央区三宮町1の1の2 078-392-5656  
**姫路支店** 兵庫県姫路市十二所前町45 079-222-5961  
**岡山支店** 岡山県岡山市田町1の3の6 086-224-5111  
**玉野支店** 岡山県玉野市築港2の4の12 0863-31-1211  
**広島支店** 広島県広島市中区大手町2の8の4 082-241-9511  
**宇部支店** 山口県宇部市相生町9の7 0836-31-1171  
**松山支店** 愛媛県松山市花園町1の3 089-932-2121  
**宇和島支店** 愛媛県宇和島市錦町3の20 0895-22-5711  
**福岡支店** 福岡県福岡市中央区天神1の12の20 092-751-3434  
**熊本支店** 熊本県熊本市新市街11の18 096-325-7111

**ニューヨーク駐在員事務所**  
 420 Lexington Avenue, Suite 2529  
 New York, N.Y. 10170, U.S.A. 212-983-1504  
**上海駐在員事務所** S2007 Shanghai Stock Exchange Building,  
 528 South Pudong Road,  
 Pudong District, Shanghai  
 200120, P. R. CHINA 21-6881-1001

## ■ グループ会社 ■

**岡三オンライン証券株式会社** 東京都中央区銀座3の9の7 03-3547-0100  
**丸福証券株式会社** 新潟県長岡市大手通1の5の5 0258-35-0290  
**三京証券株式会社** 大阪府大阪市中央区備後町1の7の10 06-6266-0212  
**三晃証券株式会社** 東京都渋谷区代々木2の13の4 03-5371-3111  
**六二証券株式会社** 三重県桑名市中央町1の29 0594-23-6211  
**大石証券株式会社** 岐阜県大垣市栗屋町1 0584-75-3111  
**岡三国際(亜州)有限公司** Unit Nos. 4601-3, 46F,  
 The Center, 99 Queen's Road  
 Central, Hong Kong 2526-5961~4  
**日本投信委託株式会社** 東京都中央区八丁堀2の26の9 03-3555-3123  
**岡三投資顧問株式会社** 東京都中央区日本橋小網町9の9 03-3665-0505  
**岡三ベンチャーキャピタル株式会社** 東京都中央区日本橋小網町9の9 03-3665-1011  
**株式会社岡三経済研究所** 東京都中央区八丁堀2の7の1 03-3553-3350  
**岡三(上海)投資顧問有限公司** S2007 Shanghai Stock Exchange Building,  
 528 South Pudong Road,  
 Pudong District, Shanghai  
 200120, P. R. CHINA 21-6881-1001  
**岡三情報システム株式会社** 東京都江東区平野3の2の12 03-3820-1511  
**岡三ビジネスサービス株式会社** 東京都中央区日本橋1の16の3 03-5203-1581  
**岡三興業株式会社** 東京都中央区日本橋小網町9の9 03-3665-3500



再生紙を使用しています。